

災害から歴史資料・文化財を守るために何ができるか in Kagoshima

昨年の西日本豪雨に続き、今年に入り九州北部の豪雨、台風15号・19号による深刻な被害が相次ぎ、生命までもが脅かされる事態になっています。家庭や地域で育まれてきた資料や文化財も相当なダメージを受けているはずですが。こうした被害から少しでも資料や文化財を守り、土地の文化や歴史を後世に継承していくために、今、私たちは何ができるのでしょうか、また、どのような工夫が求められているのでしょうか。下記の要領でフォーラムを開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

(日 時) **2019年12月7日(土) 14時~17時20分** **参加費 無料**
(会 場) **鹿児島大学郡元キャンパス 法文学部 3号館104講義室**

<第Ⅰ部> 報告 総合司会 深瀬 浩三 (鹿児島大学 准教授)

甲斐 未希子 (愛媛県歴史文化博物館 学芸員)

「平成30年7月豪雨における水損資料レスキュー」

三重野 誠 (大分県教育庁 文化課参事)

「大分県における文化財防災の取り組みについて」

丹羽 謙治 (鹿児島大学 教授)

「資料の整理および保存の実践と課題」

山内 利秋 (九州保健福祉大学 准教授)

「災害に備えた資料保全シミュレーションを実践する」

<第Ⅱ部> 座談会 司会 佐藤 宏之(鹿児島大学 准教授)

「災害から歴史資料・文化財を守るために」

参加申し込み方法 (12月4日まで)

以下のWebページ、または右のQRコードから申し込みしてください。

鹿児島資料ネット (<http://kagoshima-shiryounet.seesaa.net/>)



申し込みQRコード



主 催 : 鹿児島歴史資料防災ネットワーク、宮崎歴史資料ネットワーク

問い合わせ : 鹿児島大学法文学部 丹羽謙治 (TEL : 099 (285) 8904 E-mail : niwa@leh.kagoshima-u.ac.jp)

※本研究活動とフォーラムは、日本学術振興会科学研究費 基盤研究(B)「鹿児島県の歴史資料ネットワークの実践と展開」(2016年度~2019年度)【代表:丹羽謙治】の経費より実施されております。